

**改定・介護保険法を利用者・  
家族のために活用し、安心して住  
めるまちづくりを!**

今年の6月22日、改定介護保険法が成立し、10月からは、一部前倒しの形で、デイサービスの補助食事加算（人件費・光熱費）が廃止となり、コスモスの家ではこの食事加算39単位分をデイサービスの営業時間を延長することで、今までどおりの食材費で利用者の皆さんに食事を提供することにしました。しかし、来年4月から本格的に始まる改定については、未だ具体的な方針が決定されず、各事業所も利用者の皆さんからの問い合わせに対応

2005 年秋冬号  
季刊 No.81

特定非営利活動法人 川崎多摩区三田二丁目  
〒214 0034 川崎市多摩区三田二丁目一五  
TEL 044-931-2455 FAX 931-2444  
**コスモスの家**

できないのが現実です。来年4月から予防重視型システムが新たに導入され、対象者は要支援、要介護1の方々です。

この新しいシステムに対し、人口3万人のエリアに「地域包括センター」が一箇所設立され、新予防対象となる方々に対応することになっています。しかし、その全貌はまだ明らかになっておりません。

利用者のAさん（要支援）は、一人暮らしで週1回のデイサービスと生活援助ヘルパーを利用していています。



学習会の様子

この度の改定によって、これらのサービスが受けられなくなるのをとても心配しています。

そのほかにも利用者の家族から「今後どうなるのか」という質問にそこで働くヘルパーたちも新予防給付の



中身がはつきりしていないため、答え様がなく、大きな不安を感じています。

コスモスの家では川崎在宅福祉公社基幹型在宅介護支援センター主査の中澤伸氏を講師に招き、かわさきホームヘルパ

ー研究会と共催で今後の介護予防サービスと地域包括センターについての学習会を開きました。現在、計画されている新予防給付メニューが利用者の日常生活の自立と機能維持になるよう、事業の展開を計り、スタッフの資質向上に向け、研究会、学習会を重ねて行きたいと思っております。

国は、介護報酬も3%程度下げ、在宅サービスの削減も検討していると12月5日の日経新聞にも報道されておりました。コスモスの家は、新予防給付と一体的・連続的に進められる地域支援事業を行政とともに展開し、安心して暮らせるまちづくりを今後も目指して行きたいと思っております。

# 第3回三田ふれあい まつりが開催されました

10月30日(日)に「第3回三田ふれあいまつり」が開催されました。

主催は、三田まちづくり委員会、共催としてコスモスの家、コスモスの家を支える会、今年是多摩区役所、川崎市社会福祉協議会、遊花園在宅介護支援センター、三田コーポ商店会が後援してくださいました。



昨年からお隣の青少年創作センター(KCセンター)をメイン会場として開催することに  
なり、今年  
は喫茶室も  
KCセンター  
の調理場に  
移しました  
メニュー  
はトン汁、

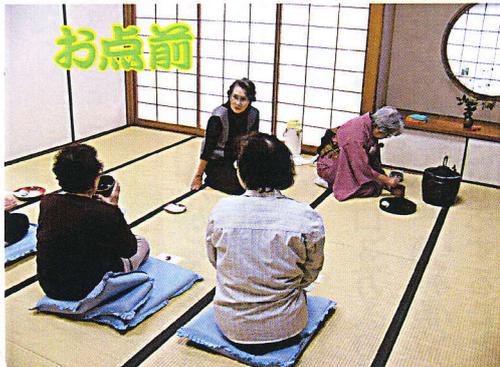


朝倉さんによる似顔絵

たくさんの方がきてくださいました。

バザーでは、手作りお菓子やお赤飯が好評でした。今年は、先着50名に無料でチューリップの球根の鉢植えを来場されたかたにプレゼント。来年の春に  
きれいな花を咲かせてくれるのを楽しみにしています。

和室では、ボランティアの方がお手前を披露してくださり、来場され



お点前

ケーキセット  
コーヒードリンク、紅茶、ケーキは手作りでもおいしいと評判でした。  
昨年同様前日まで天気が危ぶまれましたが、みごとに晴天となり、



コーラス

ケット5枚以上で景品ゲット)を行いました。協力してくださった商店街の皆様、ありがとうございました！

午後からは、五反田自治会婦人部のコーラスの皆さんが来てくださり、美しい歌声がホールいっぱい響き渡り、心が癒されました。「三田ふれあいまつり」も今年で3回目ですが、だんだんと地域の方々にも知っていただけるようになりました。これからも、地域に根ざした活動を続けていきたいと思っております。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。





## コスモスの家の 講師の先生 ④

シリーズ第4段は、詩吟の松沢とし枝先生です。松沢先生はコスモスの家からすぐ近くにお住まいになつていて、平成12年からコスモスの家で講師をなさっています。コスモスの家に来られるようになったきっかけをお聞きすると、「飛び込みでなんです、実は。」意外や意外でした。「詩吟を始めたのは、40代からなんですけど、ちよつと寄り道もしました。その頃はまだ若くて他にもやりたいことがたくさんあって、日本画や水墨画、俳句もして、詩吟の方は長いことお休みしていました。あのまま続けていけば、かなりの地位までいけたと思うんですけど(笑)今では、いろいろ経験したからこそ、あらためて詩吟のすばらしさがわかったと思つております。」



松沢 とし枝先生

長年のブランクを取り戻そうと、育児と家事の忙しい合間を縫つて、練習したそうです。そして、



子育ても終わり、あらためて自分のこれからを振り返ったとき「これからは、人様のために役に立つことができないうか？」と思ひ、コスモスの家に「ボランティアで詩吟をお教えさせ

てもらえないでしょうか？」とまさに「飛び込んで」こられたのでした。「いきなりでしたからねえ、さぞびつくりされたと思います、でも、しばらくして講師としてお願いしますと言われてとても嬉しかったです。コスモスの家の方々は本当に熱心でみなさん生き生きしていらつしやいます。ご年配の方が多いのですが、最初は休憩を十分に取つてと思つていたので、最初は休憩を十分に取つてと思つていたので、最初の休憩で1時間きつちり吟じます。みなさんとても意欲があつて、こちもついノリノリになつてしまいます。利用者さんから『あー、もうこんな時間？あつ



という間だねえ』と言われるととても嬉しいです。私もコスモスの家に行つて元気をもらつています。」

詩吟はもともと平安時代に殿上人の間にあつて優美華麗な旋律で吟詠されたもので、現代の吟詠法は江戸

時代九州の広瀬淡窓が全寮制の私塾を開き、遠方から来ている門人達を少しでも元氣づけるようとして節をつけて吟じたのが始まりです。「戦後、詩吟はGHQによって禁止されて、それから一時廃れてしまつたんです。私達の子供の頃は生活の中に詩吟があつて、祖父や父が詩つていたので、すぐ覚えましたが、今はそういうことはないですね。詩吟は昔の人の生き様や心、歴史の背景、言葉に対する表現力、想像力など様々なことを得ることができる素晴らしい文化です。年配の方だけでなく、子供達にももっと知ってもらいたいです。それにお腹から声を出すから、健康にとってもいいですよ。私なんか寒い日に一吟すると体がぽかぽかしてきて暖房なんかいらませんよ(笑)」松沢先生、これからも素敵な詩吟をおねがいたします！



## 宮前コスモスの家 リニューアル オープン!

11月10日(木) ようやく完成した新宅で宮前コスモスの家が再スタートしました! 半年前と同じ場所でありながら雰囲気がつかり変わってしまっていました  
新しい木の香りを楽しみながら、それでも建て替える前より少しばかり狭くなってしまった部屋にみなさん少々戸惑っておられた様子です。



部屋も純和風からガラリと変わって洋風になりました。半年間、利用者の野村 政さんのお宅の一室をお借りしておりましたが、こちらのお部屋も広がったので、本当にゆったりと過ごさせていただけ、感謝しております。

この日は、秋の花を画材に絵を楽しみました。



半年間、利用者の方々にもご迷惑をおかけしましたが、リニューアルした「宮前コスモスの家」を今後ともどうぞよろしく  
お願いいたします



## バスハイク

向ヶ丘遊園のバラ園へ25人乗りのマイクロバスとコスモス車と乗用車の3台で利用者32人参加のバスハイクへ行きました。とても天気がよく、暑いくらいの日でした。春に比べてバラは  
少なかったですが、花より団子で芝生にシートを敷いてコスモスの家で作ったお弁当をおいしくいただきました。



## 花より団子?

(\*^ ^\*)  
—

